

議会を変えたい 動く市民

夜間・休日開会、提案 ■ 討論会やアンケート

身近な地方議会を変えようと、市民が取り組んでいる。市民の声が反映されていないと感じているから

議会を夜間や休みの日に開き、サラリーマンや子育て中の母親の議員を増やそう。統一地方選を控えた3月、「土日夜間議会改革・地方議会を変える千代田区会議」が発足した。全国組織の「地方議会を変える国民会議」が初めて立ち上げた。国民会議の発起人には、岸博幸・慶応大教授や作家の塚屋太一さん、オリックスの宮内義彦



・シニアアチャマンらが名を連ねる。

千代田区には国会や官公庁、大企業が集まる。「日本の中枢」から地方議会を変え、全国に波及させようという狙いだ。

千代田区会議によると、欧州では夜間や週末に地方議会が開かれ、無報酬の議

会も多くある。これに対し、日本では平日の開会が一般的だ。

発起人の一人で、港区の

政策コンサルティング会社代表の原英史さん(48)は「今の地方議会はなり手がなく、レベルが下がる悪循環に陥っている。千代田区には水準の高い企業人、知識人が住んでいる。こうした人たちが議会に参加し、政策のイノベーション(革新)を起こせば、国と渡り合い最先端のまちづくりができる」と話す。

26日投票の同区議選では、これまでに立候補を予定する弁護士と起業家の男性2人に推薦を出した。高齢化が進む多摩ニュータウンを抱える多摩市。市議選の投票率は前回の11年は46・78%と停滞が続く。5日、市内で市議選の立候補予定者による討論会が開かれた。定数26に三十数人が立候補する見通し。討論会には9人が出席した。「学生に空き家に住んでもらい、(市外に出ても)子育て世代になったら戻ってきてもらう」「議会が市民と一緒に政策を提案すべきだ」。それぞれがまちづくり構想を説明した。主催したのは市民グループ「ウォッチング多摩の会」。同会は1998年に活動を始め、議会を傍聴して「市議の通信簿」を独自につくってきた。

今回の市議選に向け昨年

9月、市民アンケートを実施した。1万人に配り、料金受取人払郵便で約260人から回答があった。「支持する議員はありますか」いる53人、いない172人▽「議員報酬は高いと思うか」思う191人、思わない30人▽「議会は土日、夜間、年中開催なども

考えるべきだ」思う146人、思わない49人—などの結果だった。昨年11月に集会で発表した。代表の神津幸夫さん(76)は「低投票率だと、組織票を持つ候補が勝つ傾向が強まる。投票率を上げ、多様な意見を議会に反映させることが必要」と話す。(松崎敏朗)



立川支局
〒190-0012
立川市曙町2-38-5
立川ビジネスセンタービル3階
☎ 042-524-5104
fax 042-524-5106
mail tachikawa@asahi.com

町田 ☎ 042-723-3251
八王子 ☎ 042-646-8511
青梅 ☎ 0428-24-3824
東京総局
〒100-0011
千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル3階
☎ 03-3508-0390

購読・配達のご用は
☎ 0120-33-0843
(7:00~21:00)

広告のご用は
☎ 03-3547-5550
折り込みのご用は
☎ 03-3544-7621

きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18時

0	大手町	0
0	練馬	0
0	府中	0
0	八王子	0

大手町 ☎ 府中
南北市 南北市